

## 富山県内における NPO インターンシップのアンケート調査と可能性調査

Feasibility study and survey of NPO Internship in Toyama

谷 口 新 一

TANIGUCHI Shinichi

本稿は平成25年度富山県ひとづくり財団第5号助成により実施した調査結果である。社会的なポジションを高めつつあるNPOが富山県における人材育成機能をどのように果たしているか、大学生等学生のインターンシップに焦点を当てて、現状や今後の意向、課題を探る。現状と意向、意向と社会期待との乖離を明らかにすることで構造を把握したい。富山県内全NPO法人に対しアンケート調査を行うとともに、ヒアリング調査を実施した。アンケート調査の回収率は41.8%。ヒアリング調査は5法人。

キーワード 富山県 大学生 NPO インターンシップ アンケート調査

### 1. 富山県における学生職業体験の現状と事例

#### (1) 中学校

##### >目的

中学2年生が5日間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動に参加することにより、規範意識や社会性を高める。また、働く人たちと身近に接することにより、将来の自分の生き方を考えるきっかけとし、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身につける。

##### >きっかけ

平成7年ごろのいじめの問題化を受け「地域の子どもは地域で育てる」という目的のもと、地域ぐるみでいじめや不登校の増加に対応しようと、取り組みがスタートした。全校に先駆けて平成11年より「14歳の挑戦」として、本格的に取り組んでいる。

『福岡大学 寺崎里水講師「富山県「14歳の挑戦」にみる職場体験の現状と課題」より抜粋』

##### >富山県内の実施状況

富山県公立中学校 81校中 81校実施 (100%) また5日以上実施校 81校

##### >全国の実施状況

『国立教育政策研究所「平成24年度職場体験・インターンシップ実施状況等調査結果(概要)より』

順位	都道府県	学校数	実施 学校数	実施率	5日以上 実施校	5日以上 実施率
1	富山県	81	81	100.0%	81	100.0%
1	滋賀県	98	98	100.0	98	100.0
1	兵庫県	266	266	100.0	266	100.0
4	広島県	179	179	100.0	176	98.3
5	栃木県	165	162	98.2	65	40.1
6	鳥取県	60	59	98.3	23	39.0
7	群馬県	170	168	98.8	60	35.7
8	東京都	631	625	99.0	201	32.2
9	沖縄県	150	146	97.3	25	17.1
10	高知県	114	111	97.4	17	15.3

『国立教育政策研究所「平成24年度公立中学校における都道府県別職場体験実施率について」』  
 > 県外での取り組みによる効果

兵庫県教育委員会の調べ（平成11年度）によると、1年生時に年間30日以上欠席した「不登校生徒」1,274名のうち、半数強の658人、割合にして51.6パーセントが、「トライやる・ウィーク」に5日間全日参加していた。

平成12年度以後の調査でも、不登校生徒の約半数が全日参加する傾向に変わりはない。さらに、不登校の生徒で5日全日参加した生徒の体験後の登校率が上昇する事実である。全日参加した生徒のおよそ3人に1人は、実施2ヵ月後には以前に比べて登校率が上昇している。

『内閣府経済社会総合研究所「若年就業対策としての「14歳の就業体験」支援」』

## (2) 高等学校

> 目的

生徒が在学中に産業の現場などで学習内容や自分の進路に関連した職業体験をすることによって、望ましい職業観や主体的な職業選択能力を身につけることができるよう「インターンシップ制度推進事業」を実施している。

実際的な知識や技術を学び、更に学校の学習と職業との関係についての理解を深める。また、コミュニケーション能力の向上を図ることで、自己理解を深めることにつながり、確かな職業観を身に付けることが期待される。地域及び食用・産業に対する理解を深める。

> 富山県内の実施状況

富山県公立高等学校 44校中 42校実施 (95.5%)

> 全国の実施状況

『国立教育政策研究所「平成24年度職場体験・インターンシップ実施状況等調査結果（概要）より」』

順位	都道府県	学校数	実施 学校数	実施率
1	福井県	38	38	100.0%

1	鳥取県	26	26	100.0
1	熊本県	69	69	100.0
4	鹿児島県	73	71	97.3
5	新潟県	95	92	96.8
6	富山県	44	42	95.5
7	長野県	105	99	94.3
8	秋田県	59	54	91.5
9	北海道	271	247	91.1
10	山梨県	39	35	89.7

『国立教育政策研究所「平成 24 年度公立高等学校における都道府県別インターンシップ実施率について」』

### (3) 大学・短大等

#### >目的

社会人としての自分の適性やライフプランを考え、仕事・社会人としての自分の位置を確認し、より具体的なイメージをする。

いろんな技術・知識・ノウハウに触れたり、企業の先進性・独創性などの刺激を受け、自分なりの新しい時代の価値を生み出す力が備わる。

自分が学んでいる勉強、学校での研究と実際の業務を結びつけて考えることで、学業の方向性、目的意識が明確になる。学業だけでなく、人との交流やいろんな活動を含めて、学生生活全般に大きなリターンがある。

#### >富山県内の実施状況

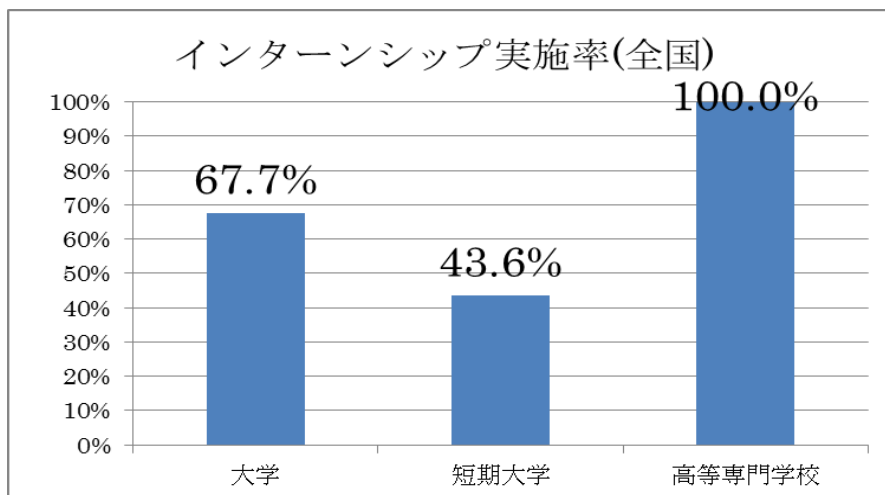
平成 24 年度参加学生数 871 人

#### >全国の実施状況

参加企業・団体 244 社（内NPO法人 1 団体）

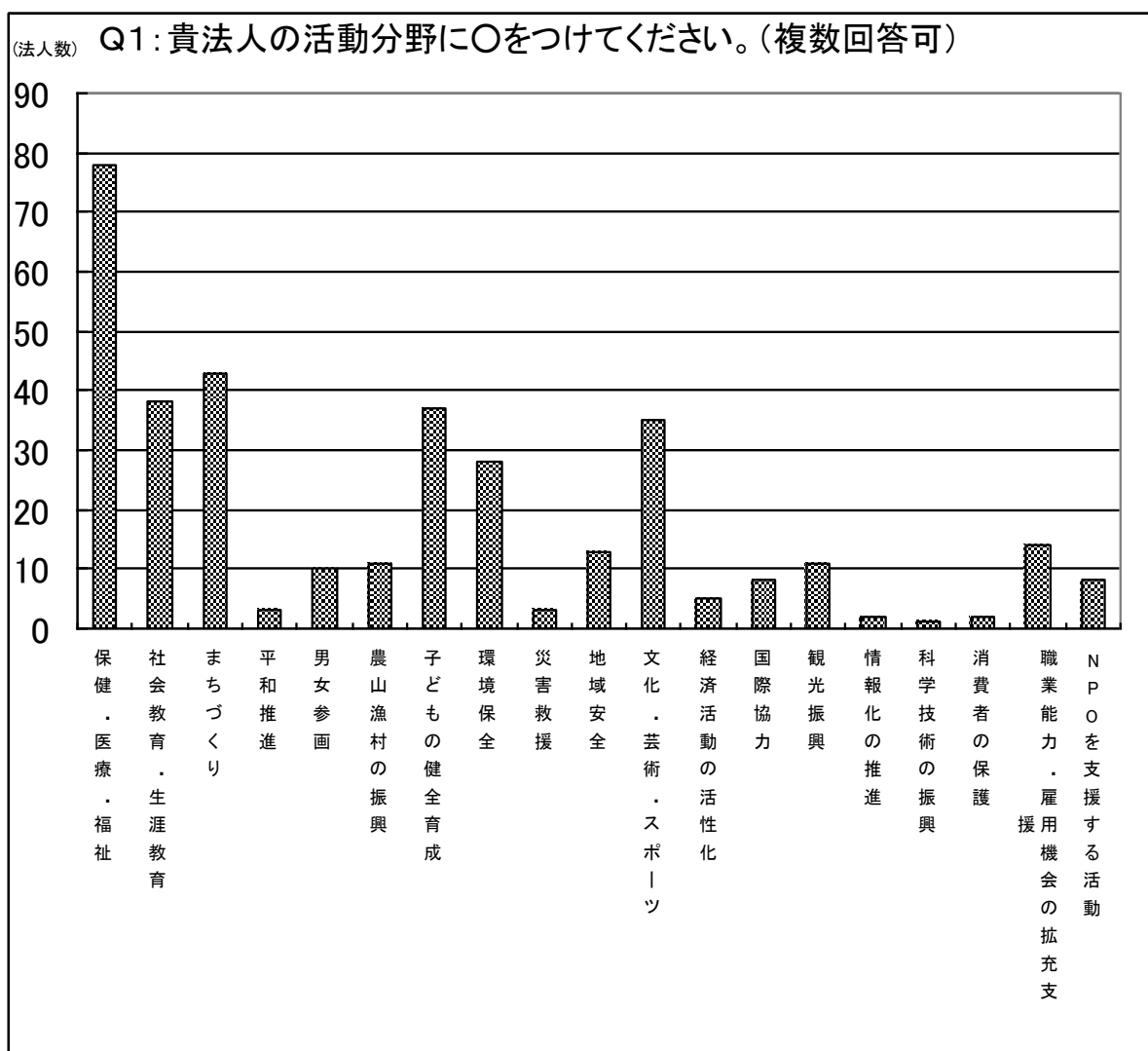
	調査校数	実施校数	実施率	体験数
大学	745 校	504 校	67.7%	49,726 人
短期大学	390 校	170 校	43.6%	4,968 人
高等専門学校	61 校	61 校	100.0%	8,674 人

『文部科学省「平成 19 年度インターンシップ実施状況」』



## 2. 富山県内NPO法人へのアンケート調査結果 設問毎集計

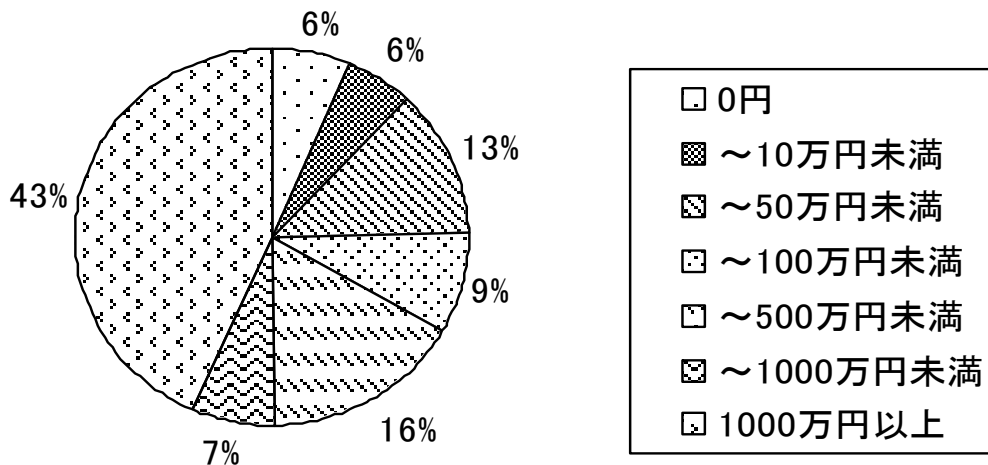
Q1. 貴法人の活動分野に○をつけてください。(複数回答可)



保健・医療・福祉、まちづくり、社会教育・生涯教育など、生活に密着した団体が多い。  
 最も多い保健・医療・福祉は、78法人54.4%の法人が取り組んでいる。  
 子どもの健全育成について、学校教育以外での生きる力を育成とした取り組みがうかがえる。  
 文化・芸術・スポーツでは、特にスポーツ施設が多い。

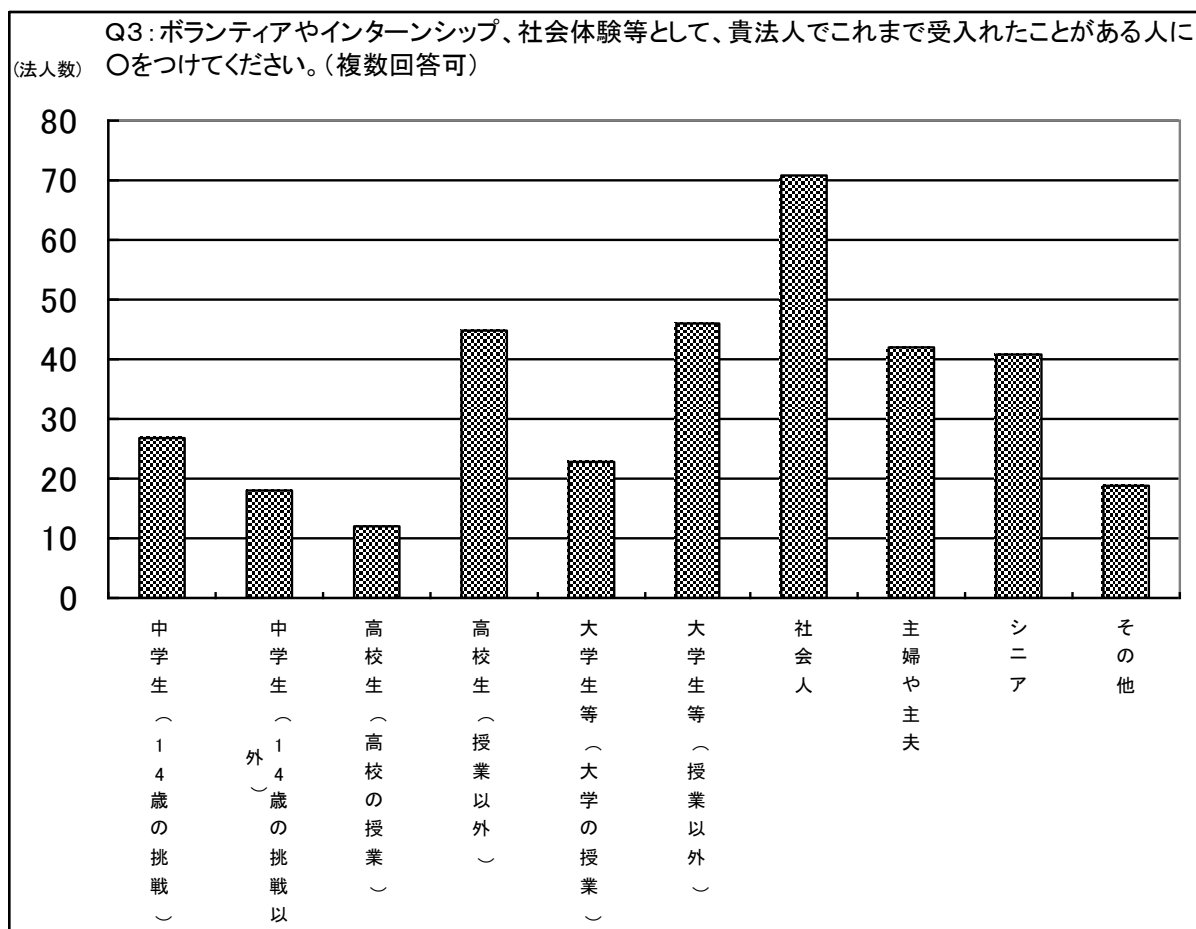
Q2. 年間収入規模はどのくらいですか。○をつけてください。

Q2: 年間収入規模はどのくらいですか？



1000万円以上の収入が61法人で4割強を占めている。  
 一方で、100万円未満の収入が4割弱と二極化がうかがえる。  
 「収入が少ないため、受入ができない」との回答も見られた。

Q3. ボランティアやインターンシップ、社会体験等として、貴法人でこれまで受け入れたことがある人に○をつけてください。(複数回答可)



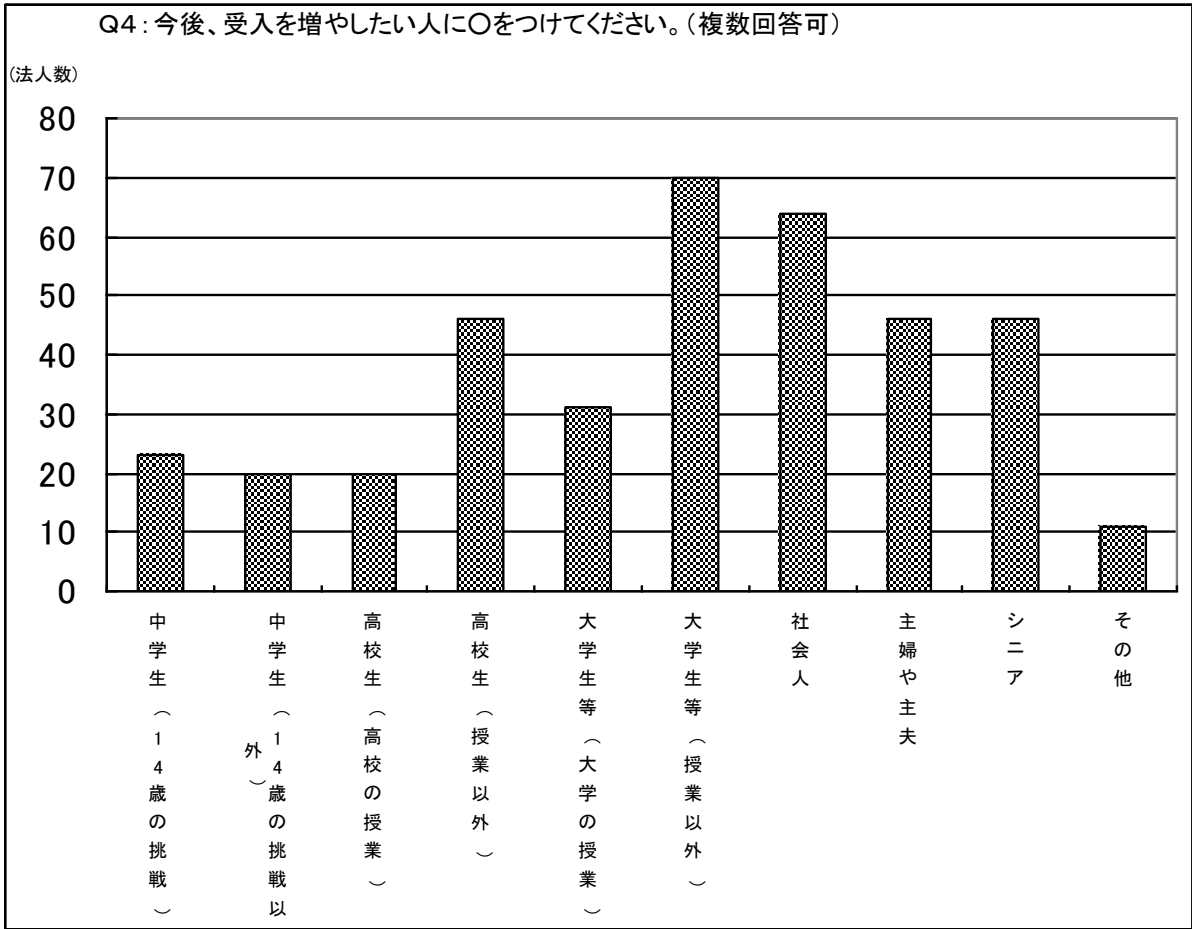
社会人、主婦・主夫、シニアが多い。

最も多い社会人は71法人49.7%が受け入れたことがあり、大学生等については、大学の授業では16.1%、授業以外では32.2%が受け入れたことがある。

高校生、大学生は、授業以外での受入が多い。

一方で、高校生、大学生の授業での受入が少ないことから、NPOのインターンシップへの意識が低いことがうかがえる。

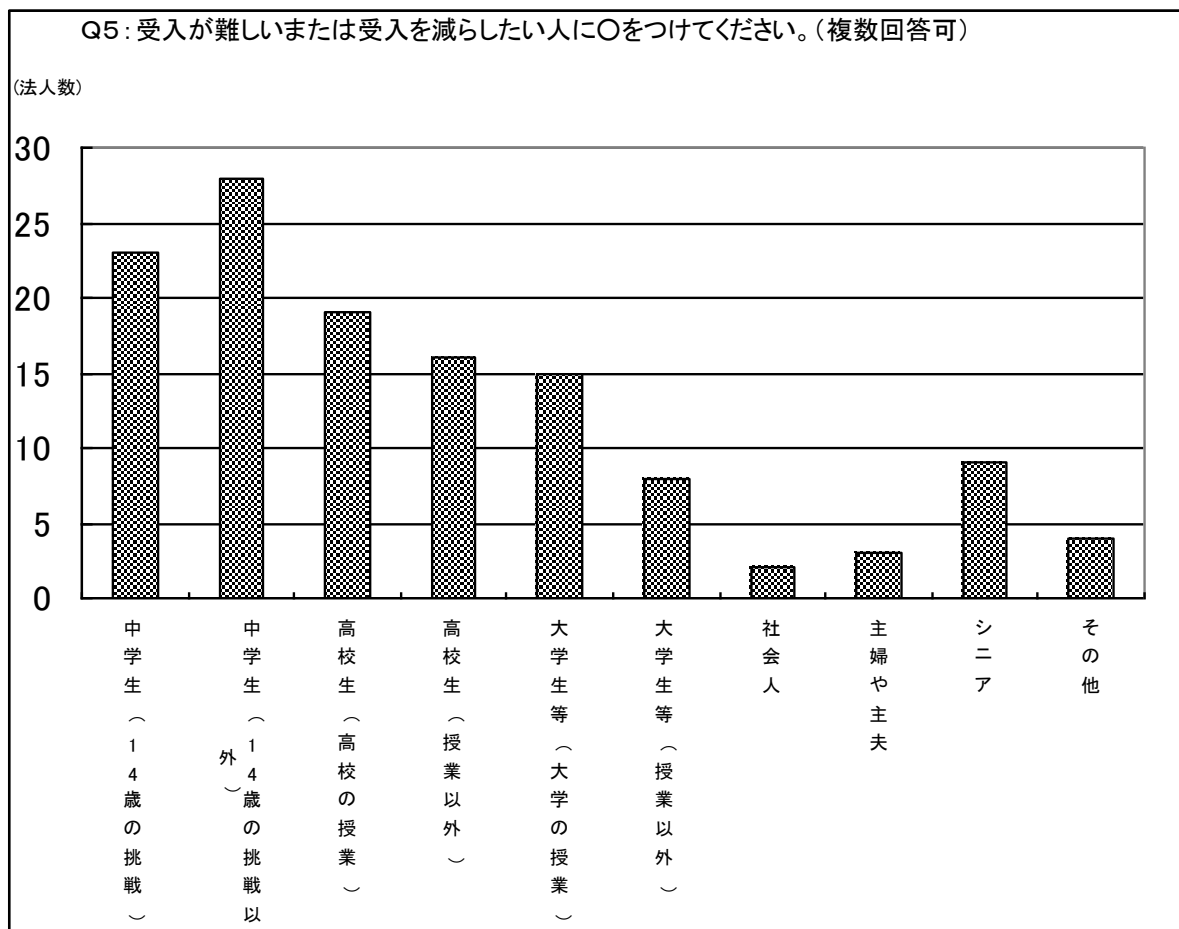
Q4. 今後、受入を増やしたい人に○をつけてください。(複数回答可)



大学生等（授業以外）の受入を増やしたい法人が一番多く、70法人49.0%となっている。高校生（授業以外）についても46法人32.2%となっており、授業以外の若い世代の自発的な力を必要としている様子がうかがえる。

また、2番目に多いのが社会人の受入希望であることから、プロボノともいわれるような即戦力が求められていることも表れている。

Q5. 受入が難しいまたは受入を減らしたい人に○をつけてください。(複数回答可)



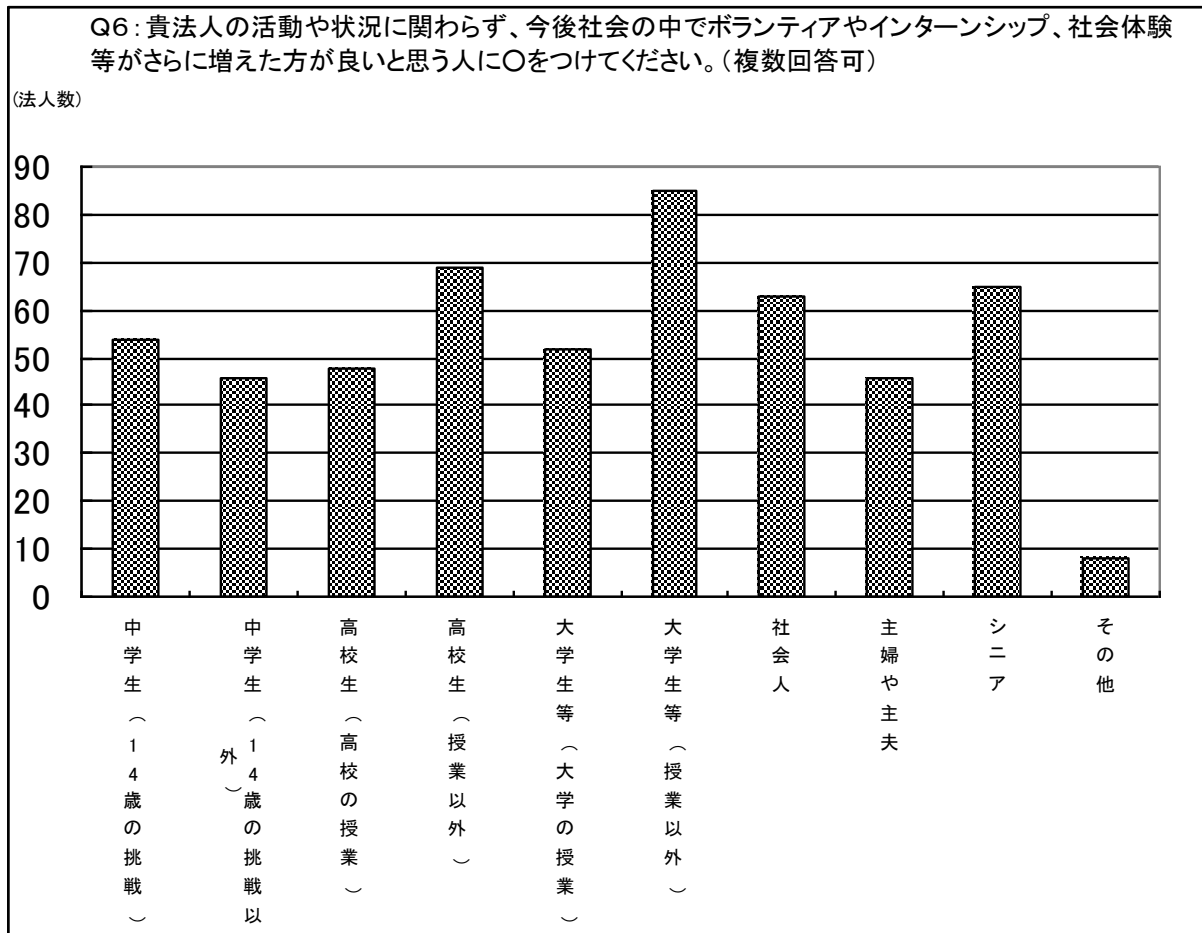
中高生の受入れには、消極的な姿勢がうかがえる。

最も難しいまたは減らしたいのが中学生（14歳の挑戦以外）であり、28法人19.6%となっている。

背景には、来てもNPOの仕事が理解できない、説明するのに時間がかかる、ことが考えられる。

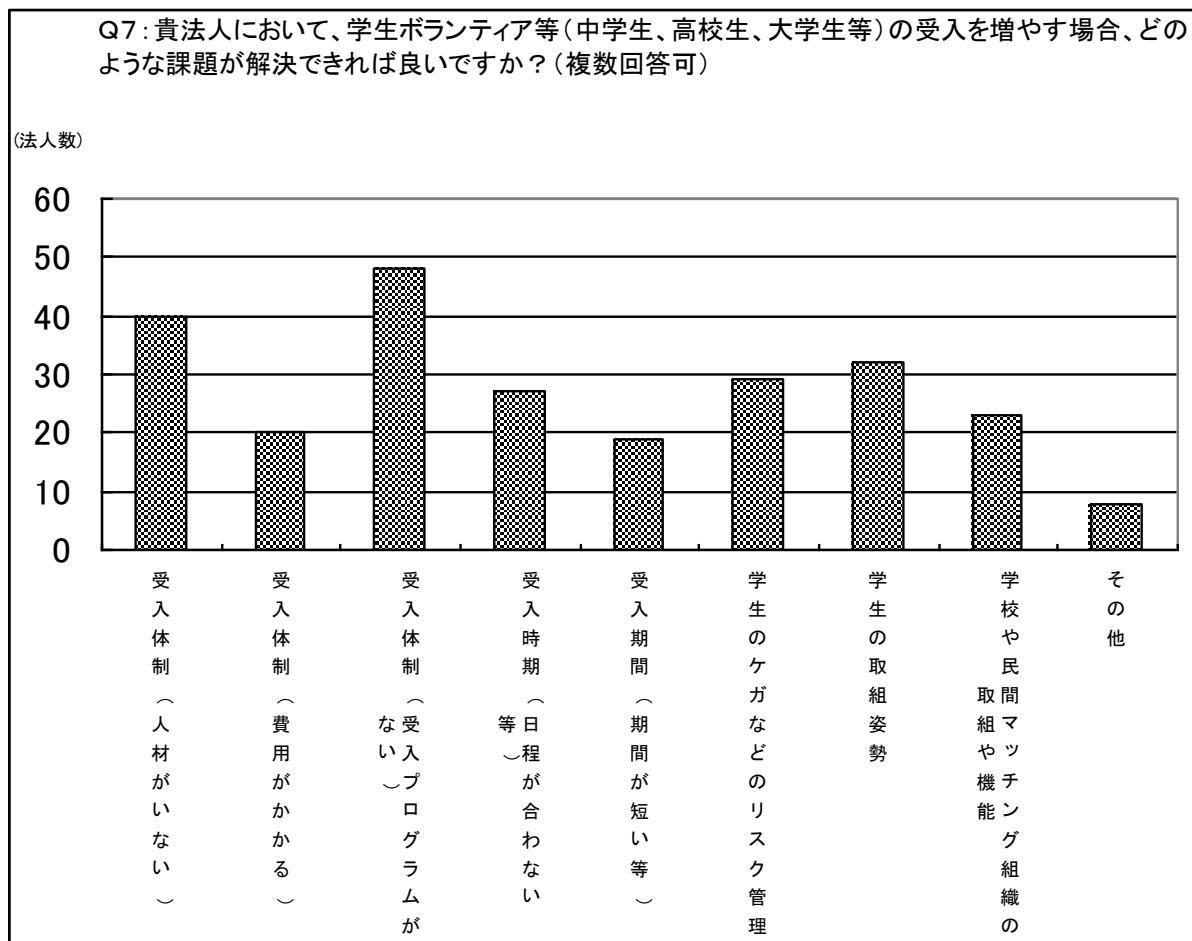


Q6. 貴法人の活動や状況に関わらず、今後社会の中でボランティアやインターンシップ、社会体験等がさらに増えた方が良いと思う人に○をつけてください。(複数回答可)



この質問は、各法人の経営資源の制約を離れ、社会としてあるべき潜在的な期待を聞いている。いずれの世代も増えた方が良いが、高校生・大学生の社会体験を望む声が多い。大学生等 (授業以外) は、85法人59.4%となっており、次に多いのが、高校生 (授業以外) の69法人48.3%となっている。授業以外の自発的な活動の場への潜在的な期待が大きい。

Q7. 貴法人において、学生ボランティア等（中学生、高校生、大学生等）の受入を増やす場合、どのような課題が解決できれば良いですか。○をつけてください。（複数回答可）



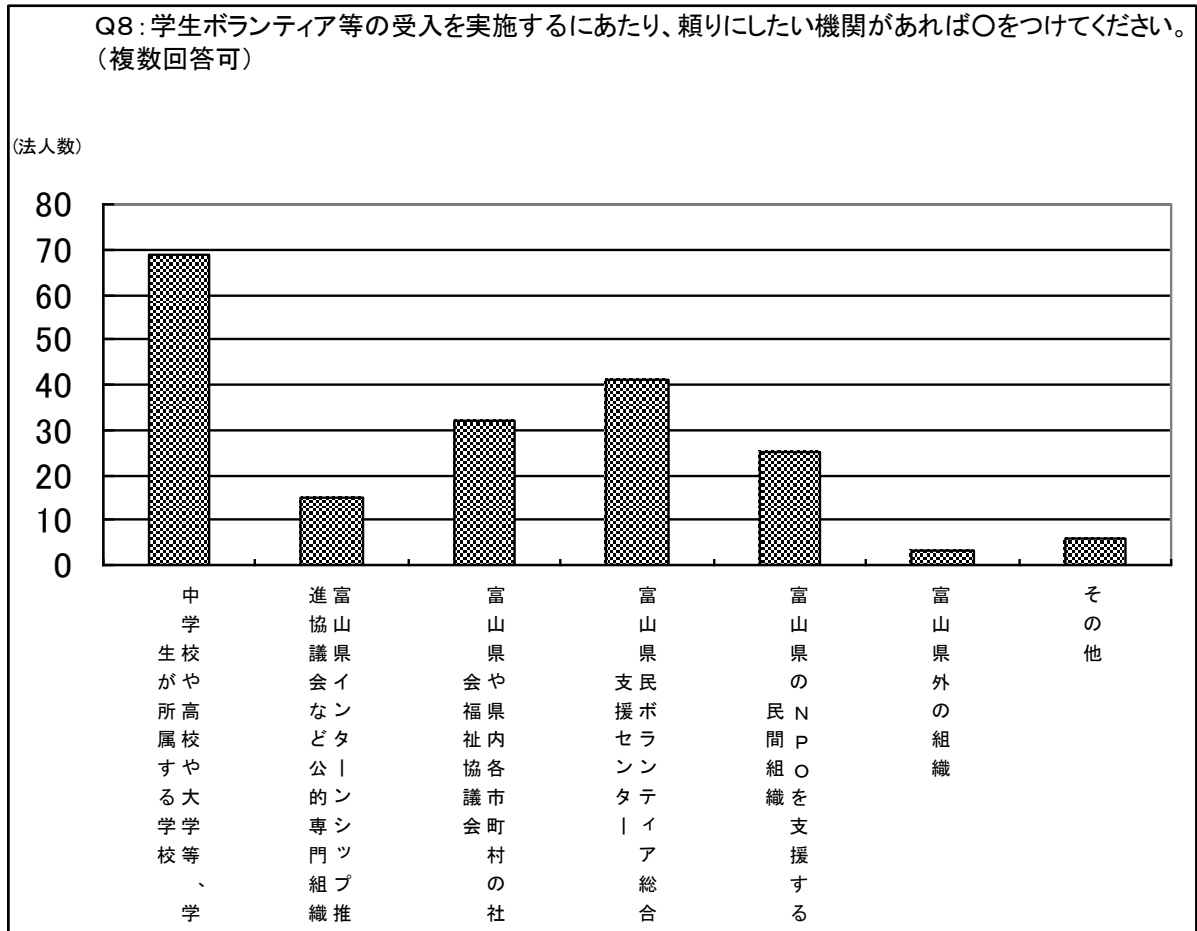
48法人33.6%が、受入体制（受入プログラムがない）を課題としている。

40法人28.0%が、受入体制（人材がない）を課題としている。

ヒアリングからも、受入プログラムがないことが課題となり、受入が難しいと感じた。

また体験する学生側の取組姿勢では、事前に団体の調査をしていないことが挙げられた。

Q8. 学生ボランティア等の受入を実施するにあたり、頼りにしたい機関があれば○をつけてください。(複数回答可)



中学校や高校や大学等、学生が所属する学校としたのが、69法人48.3%あった。富山県インターンシップ推進協議会など公的専門組織については、15法人10.5%にとどまっており、NPO法人にとって、大学生のインターンシップのマッチングをおこなっている富山県インターンシップ推進協議会は認知されていないことがうかがえる。

Q9. 学生ボランティアの受入にあたり、貴法人側の受入メリットや意義について、自由に記入してください。

- ・全く考えておりません。
- ・只今、事業をかなり縮小しておりますので、受け入れに関するアンケートにはお応えできません。よろしく申し上げます。
- ・富山型デイサービス及び、認知症デイサービスを運営しております。ボランティアの受け入れにより、利用者、スタッフ内に新たな人間関係を築けることもでき、刺激となり、面白く、楽しく、過ごすことができると思います。
- ・人材育成、確保。
- ・当法人は手段（鍼灸、マッサージ）を通じての社会貢献やボランティア活動を行っており、将来的に手段に関心のある学生さんには、手段療法を教えることができる。
- ・福祉に関わりのない人の柔軟な発想に触発されることがあります。ボランティアに来てくれた人が、進路先として障害者に関わる可能性のある職種を選ばれたと聞くと来てもらった意義があったのかとも思います。
- ・将来のスタッフ。他のスタッフへの刺激。当活動への理解。
- ・本人が関心あればこそ、意義があります。日本の文化を紹介する中で「まちづくり」の構築に貢献します。
- ・実践活動（周知活動、事実実施など）に加えて話し合いや事業のとりまとめ、課題の検討など新しいプログラムとして具体化できるものも多いだろう。
- ・NPOあわすのでは冬シーズンに向けて開催準備や草刈り作業を実施しています。参加される人達には、参加証を発行しています。参加一回ごとに1枚発行します。（作業は半日のみ）参加証は、シーズン中のリフト券に対応できる金額のものを出しています。数多く参加されて参加証が余ったときは、食事券、ガソリン券等に還元できるものです。
- ・通所介護施設です。お客様を対象としていますので、サービス業です。ボランティアの受け入れに当たり、取り組む姿勢を重要にさせていただきよう願っています。
- ・利用者さんが喜ばれる。
- ・障害理解が進む。
- ・特に登校できずに通っている子供が多いので、「なぜ不登校なのか」「行けるようになるのが良い」等、子供の葛藤に土足で踏み入れることがないよう、配慮できる方に入って頂いています。そういった安全感のある人で、子供支援に関心ある人があればお願いしたいです。
- ・地域イベント等に協力できる。
- ・主体的に企画運営などまで考えて実践の場になる。地域の現場で実体験が人と人のふれあい協力、キチンと実施する難しさも学べる。
- ・馬術競技は人間本体の訓練練習よりも「馬」「競技馬」の飼育、調教に長い年月と老婆心と費用がかかるものです。短期的心でボランティアが務まるとは考えていませんので、交替、変更があっても持続的に行う気概のある活動であれば可能。馬の飼育、調教は飼養にかかる作業（草刈り、

給餌、排便排尿処理（馬糞処理）敷料運搬馬の調教（訓練）病気、ケガの治療等々。

- ・若い方々が居てくださることによって、利用者や子供たちが喜び元気になる。
- ・受け入れにあたってのメリットは、新しい風が入る、利用者さんが珍しい人（=いつもなら接しない人）と交流できる、ということなのでしょう。一方、デメリットは大きいと感じています。指導に時間、労力を大きくとられますし、守秘がどれだけ徹底されているか疑わしくなることがあります。でも、「活動の場の提供」という役割を任っていると思うので、希望があれば選別することなく受け入れています。
- ・当法人は主として産業廃棄物の処理を事業とする（株）富山環境整備が「住みよい地域社会づくりに貢献しよう」との目的で設立した企業ボランティアであり、青色回転燈を備えた車両（いわゆる青パト）を6台有し、防犯パトロールを主とした活動を行っている。学生を受け入れることによって、活動認知度が高まると共に、企業PRができることは事実である。
- ・若い人がいるだけで周りが活気づくように感じる。
- ・学生の考えを知ることで刺激になり、今までにない視点で物事に取り組める。雰囲気明るくなる。
- ・何度か受け入れています。1週間ほどと、短い期間のボランティアが多く、慣れたころには終わってしまうことが多いです。できれば、週に1~2回でもいいので、長い期間来てもらえるボランティアさんがいいと思います。
- ・ボランティアの経験を通して、将来の職業を選ぶときの参考にさせていただきたい。保育士として働く人が増えることを望みます。
- ・NPOでの受け入れはないが、地域内の各種イベント時のボランティアに対し、年間15万円程度の助成を行っており今後も継続したい。
- ・新鮮な考え方、行動力など、刺激をもらえる。
- ・当会では年に一度、臓器移植普及推進啓発活動において、主に高校生10~20名ほどにご協力をお願いしているのですが、臓器移植の必要性を知っていただく上では、メリットになる（意義がある）かと思えます。
- ・高齢者の実態に触れることにより、生きることの意義、人生の在り方、今後の自分の生き方への反映を期待すると共に社会の在り方にも切り込んで、思索できるのではないかと学生に期待する。老死について是非とも考え、思いやりや、優しさを身につけていただきたい。自らも老いることについて老人学を学んでほしい。
- ・現状においても、介護の人材が不足している。今後ますます介護を必要とする人が増加する中で、学生たちのボランティア経験が介護職場の理解を深め、やがて介護の現場を担う人材育成に繋がってくれることを望みます。
- ・在学生にとっての刺激になる。生の日本語に接する機会が得られる。日本語教育の社会的認知が高まる。
- ・学生など若い人にも「町づくり」に参加して欲しい。若い人の感覚や思い、触れ取り組みたい。
- ・地域スポーツクラブ、放課後子ども対策事業を行っているが平日なら学生ボランティアは有効かと思う。
- ・施設がないため、受け入れがむずかしい。

- ・新しい人材の確保。
- ・子供たちと、じっくり関わっていただくことができるので、子供たちにとって安定できる。当法人の教育理念などを説明することによって、改めて意識を持って原点に立ち戻れる。当法人のことを知っていただくことによって理解を広めてもらえる。
- ・クラブの目的に合致。スポーツ教室を体験することにより、指導者に緊張感を与え教室の活性化につながる。指定管理施設備品などの整理整頓や清掃活動に寄与。
- ・学生の若い力を生かして活動できること。学生の方に地域のことを知ってもらえること。地域の問題点や良いところを知り、問題解決に行動できること、等。
- ・他の森林ボランティアにはあまりない宿泊を伴う草刈り十字軍の活動をすることによって、世代を超えた交流や、大汗を流しての作業、又、食事作りなど、体験することができる。それにより、人が体を動かさなくなっている現代文明に思いをはせ、文明日批評の実践として気づきを得られる。今後の生きざまへのヒントとなるやもしれない。
- ・当協会は県下 14 市町日中友好協会の連合体であり、同時に公益社団法人日中友好協会の構成団体でもあり、予算面、スタッフ面で限界（現在、専務兼事務局長）一人で運営。当面現行のままで組織を維持せざるを得ない状況です。
- ・まじめに取り組んで貰えるので好感を持ちます。
- ・日本の伝統文化の継承と新時代の中の伝統を創造していく為にも小、中、高等学校などの未来を担う人たちの参画が望ましい。
- ・学生にNPO活動やボランティアに対する関心を持ってもらうことは重要なことだと思いますが、常時活動しており常勤のスタッフがいる団体でないと受け入れは難しいと思います。
- ・若年層の感性（感心事、興味、本音）を知ること。世代間をつなぐ機会となること。☆ただし、レクチャーなどに大半を費やすことが予想されるため、「Q7」が必須と考えます。
- ・若い行動力を吸収してハツラツとした職場にした。若い彼らと折衝、接触する場が解らなかったのが現状です。
- ・若い人が来てくれると利用者や施設全体に活気がでてくる。障害者の自立支援について一人でも多くの理解者増えるなら受け入れメリットがある。（障害者特性の理解）
- ・何度か受け入れをしましたが、障害者（福祉）に対して、真剣に目的を持ってボランティアに来てくれている学生さんと単位を取るためだけに来ている学生さんがおられました。福祉に興味があり、目的を持った、しっかりとした学生さんなら受け入れるメリットがあります。
- ・当事業所は障害者の社会参加を目的とし、利用者の生活支援、作業工賃増を目指して取り組んでいます。ボランティア受け入れにより、利用者（障害者）への認識、理解をもって支援を行って頂ければと思います。
- ・若い人が利用者の中に入ることによって刺激となる。職員は支援者と言う立場であり、厳しくなることもあるが、ボランティアと言う別な立場の人がいることで優しく接してもらえることもある。若いということだけで刺激になります。
- ・福祉サービス事業所として、将来、福祉関連の仕事に就きたいと思っている学生さんを受け入れてみたいです。
- ・環境教育は将来を担う、子供たちには大切なことであり、その一翼を学生にも理解し手伝って

もらう事は彼らの意識の中にも地球環境の保全の必要性を醸成するものと思う。

- ・規模、活動形態で受け入れは考えられない。
- ・風通しが良くなる。第三者の目が入ることにより、いろいろな気付きが生まれている。
- ・障害に対して理解機会にしたい。若い人たちの魅力（障害のある人達の元気が出ている。）いろいろな人との出会いが出来る。
- ・成年後見に関する理解啓発、法人後見受任等を行っている団体であるため、法人後見の支援員としていただけるボランティアを求めていますので、学生さんのボランティア受け入れについては、難しいと考えます。
- ・地域の振興。情報発信。
- ・あまり学生ボランティアをあてにしない。
- ・当NPO法人は地域の活性化と交通弱者である高齢者の足の確保や経田地区、道下地区両地区の交流により両地域関係を活発にし、ボランティア、公民館活動、環境自主防災組織の協力関係の向上を目指すことを目的としております。当法人の運営は、運行管理、事務処理はすべて、ボランティアにて実施されており、当面、学生ボランティアをお願いする予定はございません。
- ・1人でも多くの方に活動を知ってもらうための良い機会になるという事。学生ボランティアを受け入れたことにより、非常に助かった。役に立ったケースが多い。ボランティアの方とのつながりを持つ機会となり、その後もコミュニケーションが取りやすい。
- ・ホスピスの考え方は愛、喜び、平安、慈しみ、親切、ゆるし、優しさ、希望、救い等人間にとって重要な考え方の土台とも言えます。ホスピスの精神や心が育てばどのような人との関係性も良くなり、コミュニケーションスキルも上がるでしょう。又、人間としての本質や命の重さや尊さがより詳細に知り、活動に生かせるものと思っています。
- ・富山県の将来の発信の為、ものだけにとどまらず、人とのかかわりの大切さ、新しい出会い、発見を若い方々に希望している。
- ・後世にわたり富山湾の豊富な資源を残していくためにも、子供たちに富山湾の関心を持ってもらうことが、今後の県民の環境保全への意識を高めていくことにつながると思います。そのためにも藻の植栽等、実際の活動を通して、海と触れ合う機会を設ける等、活動している。
- ・健康志向、自然志向の中で活動に関心が高まっている。ボランティア活動の体験は人間として生きることの原点を見出す機会でもある。地域社会に貢献することの意義。それらのお思いを持って参画して頂くなら有難い。
- ・学生ボランティアに当法人を知ってもらう（理解してもらえ）良い、機会になる。
- ・私たちバラ会は公共施設にバラを飾ったり、バラ展、バラ祭ヲ開催、又、地元の公園でバラ作り花壇の造成をしています。昨年より地元小学生とバラ作りを通して心豊かな未来の魅力溢れる人材源を生み出す。
- ・まずは、認知してもらえること。学生が体験でそれを学問として考え確立し、いつか、保育所や幼稚園と肩を並べられるようになり、働く（指導員）人たちの意識向上になれば良いと思います。また、社会的な職業レベルも上がることで、学生保育指導員を目指す人達が出来ることが望ましいです。
- ・散居村の景観を保全して、公営に引き継ぐ為、個々の古民家や屋敷林の保全を行う必要があ

る。現状では、特に空き家を荒廃させぬように対策が喫緊の課題であり、空き家の利活用を強力に推進する必要がある。空き家の利活用を可能にするために空き家内の整理整頓や清掃作業、高齢者のみで居住されている古民家の敷地内の清掃作業（スンバ拾い等）にボランティアの協力を得たい。また、参加した人々に古民家、屋敷林の保全の大切さ、散居村の景観保全の重要性を意識してもらえるになって頂きたい。

- ・今の学生の考え方が知れる。
- ・地域に在住する高齢者や障害者（児）に触れ合うことで、ノーマライゼーションに関心を持ってもらいたい。
- ・回答がこの場で良いかわかりませんが、現在は会員 30 名程度で具体的な活動についてはあまり実施していません。行動の目的がかなり会員によって異なっているため方向性をまとめるのに苦慮している状況です。もう少し話し合いを進めれば活動方針がはっきりすると思います。現状でインターシップ制度には対応できません。よろしくをお願いします。
- ・特にボランティア活動を目指している訳ではないのでメリット、デメリットを考えたことはない。
- ・利用者に若い人との関わりを持って刺激になり又、働くものの刺激になってほしい。
- ・受け入れはしていない。
- ・持続する平和な社会をつくるのは一人ひとりが自主的に子供も大人も男も、女も、個人も、公共もみんなの力の協働である。
- ・本活動に携わる人の高齢化により今後の活動の先細りが考えられる。里山整備保全の重要性を若い世代に知ってもらい、関心を持ってもらう事が重要と考えている。若い世代と活動を共にすることで、今までにない発想活動ができると考えている。
- ・現スタッフ以外の人と子供たちが関われる機会が増え、お互い新たな発見がある。
- ・当法人では、高齢者の困りごとを解決する観点から空き家の見回りから、買い物バス運行、まちなか八百屋など様々な活動をしています。参加いただければ、社会体験として大変勉強になるとの話を多く頂いています。
- ・障がい福祉の分野に興味を持つ学生が増えると良い。当事業所においても、学生さんに業務について説明したり、アドバイスすることによって、職員の意識の向上にもつながる。
- ・レクレーション、インストラクター履修にはギブアンドテークとして、単位履修をお手伝いとして活用させていただいている。
- ・学生ボランティア受け入れによって、現在の勤務体制が変更するときに混乱を起さるデメリットが心配される。当法人の就労継続型は一般就労を目指しているため、各自の目標に近づけるのに必要な職員との関係が大切になっているので、学生ボランティア受け入れについては慎重に実施されねばならない現実がある。
- ・地域貢献。若者育成に関わることで、職員の意識向上。
- ・福祉関係の専門学生が、いずれは資格を取られると思いますが、カリキュラムに障害者に対する実習がとても少ないと思います。老人施設や保育実習はあるようですが、もっと障害者に対しての接し方を身につけて頂きたいと思います。当法人としましては、そういう場なれをしていたらと、スムーズに障害者に接してもらえるとと思います。



- ・既存メンバーだけでマンネリ化しそうな活動に刺激となる。
- ・ 1、心豊かな「夢を育む」人づくり、まちづくりに取り組んでいます。 2、子ども、若者の支援健全育成に体験学習に社会貢献に寄与する。○青少年問題に関する情報収集及び調査研究。○青少年の国際交流、ボランティア活動、体験活動の支援。○青少年育成指導者の養成事業。○青少年育成指導者の研修事業。○県民会議、市町村民会議との事業参加。○会議への参画及び協働事業。
- ・当施設を利用して下さる方及び職員がいろいろな人と交流できるメリットがある。当施設を利用して下さる方は、主に高齢者であるため、若い方と触れ合う機会が比較的乏しい。受け入れにより良い刺激（気持ちが若返る。元気をもらえる。違った考えに触れられる。＝学生も刺激されるかもしれません。）になると思われる。（疲れることもあるかもしれませんが）
- ・安全にスポーツ活動を楽しく行う「コツ」サポートを多くの人々に身につけて自らも健康づくりに関心を持ってもらう事。
- ・事務局は一人で運営しており、多忙であります。非営利団体の為無性に活動の手助けをしていただけたら非常に助かります。
- ・私たちの法人はまだまだ、規模の小さいものですので、学生ボランティアといってもお手伝い程度です。

**Q10.** 学生側のメリット（学生の成長等）のために、貴法人が大切にしていることや営利企業にはないNPOならではの特徴等について、自由に記入してください。

- ・ボランティア活動による善の循環。
- ・一人の人、或いは、たくさんの人と出会い話をし人間関係を築きことにより、いろいろの事を考えることが、大事であると思います。当法人においては、NPOであろうと営利法人であろうとどちらでも理念は同じであり変わりはないと考えます。
- ・家族としての信頼関係をキーワードに受け入れしている。
- ・世の中では、いろいろな人生を送ってきた人たちがいるということを、家族や学校では出会う機会のない方々を通して、学ぶことができます。どんな方も尊重されえるべきであると共に、自分自身が、今後自分の人生にどう立ち向かっていくべきかを学ぶことができると思います。しかしながら、弱小NPO法人では日々の活動を行うことがやっとなです。与えられるのを待つのではなく自ら求める人材になっていただきたい。
- ・私たちは健康で快適な高齢化社会の建設と言う社会課題に取り組んでいます。国家の医療費や社会福祉費の抑制を解決するため、介護老人の減少に焦点を当て、私たちの技術である鍼灸、マッサージ整体などの手段療法を活用することにより、確実に介護老人を減少させています。この活動を通して健康で快適な高齢化社会の実現を目指しています。
- ・ボランティアが終了した後も催し物の案内を送ったり夏休みなどの休みに来訪してもらうよう機会を作ったりする。疑問をメールで問い合わせしてもらうようにしている。
- ・地域との関わり。汗を流す。
- ・(例) 2013.12.1 (日)「X'mas 交流会 in 高岡」では、“新幹線の在来線のあるまちづくり”の討論会を準備中です。住民の声を、学生～シニアまで考える機会をつくります。
- ・営利追及の企業とは異なり、地域の活性化のためのまちづくり活動について考え、体験することは人格形成に有意と思われる。ボランティアによる自主的な活動を行っている人たちとの交流を通じて社会人としての準備に有意義であると思われる。
- ・NPO（特定非営利）と言っても営利が必要です。その営利をどのように使うかが大切であると思います。私のところでは、もちろん、職員の方（売り上げが出れば、業績手当として配分し、お客様には目が行き届くような職員の人数の配置、環境設備にも気を配っています。（満足頂けるように）あくまでも、サービス業として行っています。
- ・弱肉強食的な競争原理を超えた“人”の為に社会にあること。
- ・子供の不登校や問題行動には必ずそれなりの事情があるのだと思います。子供の小さな体で、深刻ないじめや周囲のプレッシャーを必死に背負って見ることがあって、切なくなります。こういう子には、まず、必死の苦勞を大切にしておあげること、120%で無理を強いられていた心身を休ませて、次の一歩への意欲がでるまで待つことが大切だと思います。
- ・地域イベントに参加することにより異世代交流ができる。過疎地域の活性化に貢献。
- ・ベースになっている日本海学を具体的に考えて、目標とすべきことが明確にあるのでいろいろな実践的な体験ができる。

- ・障害者と直接関わること。地域のかかえる問題について直接感じてもらうこと。
- ・動物が好き人、馬セラピーに興味のある方は務まると思うが、自分の時間を大切にするような人は無理なので、何よりも「馬」と交える学生、生徒を大事にしたい。
- ・OK赤ちゃんからお年寄り、障害児、障害者も一緒に過ごすこと。利用の希望にはなるべく断らないようにする。地域の方々との関わりを大切にしている。
- ・目的は何かをはじめに聞かせていただき、それを意識し達成出来るように心がけています。小規模なので木目細かく対応できる。
- ・学生受け入れにあたっては、特別なプログラムは作らず、平素の活動のままを実践すると共に自主防犯意識の醸成と向上を図っている。
- ・学生の体験が豊富になるよう、様々の場面を用意する配慮をしている。
- ・経験豊富なキャリアコンサルタントが実費で対応できる。
- ・介護という職種がとても難しいということを提案している。他の職にない人への対する姿勢と言うものを先に教え込まなければ、ただのロボットのようになるし、受ける高齢者が可哀そうになる。生きがいを持って働けるよう、とことん教え込んでいる。
- ・一人ひとりの特性を伸ばすようにしている。地域の人との関わりを教え込んだり、感じて貰っている。
- ・こどもの発達を知ることで、自分の生き方を考える機会になれば、良いと思います。本来の人間にとって大事なことを見つめることが、できれば良いです。
- ・大学卒業後も参画している人もおり、今後とも継続できるよう願っている。
- ・NPOといえども人を雇用し、その人たちの生活に責任を持っていることに変わりがなく当然、利益を追求するものであり、営利企業との区別が理解できない。たとえ、株式の福祉企業であっても、社会へ貢献することに尽力するものであり、NPOならではのことはないと考えている。
- ・特筆すべきものはないが、職員と学生が一緒になって、同じ目線で要介護者のケアに取り組んでいる。こうしたことで、職員自身の利用者さんへの関わり方を振り返ることができ、学ぶことも多い。
- ・学校では体験できない、自然や地域の文化等なりを学ぶことと、自立に向けた体験ができる。今はすべて、衣食住は身近なものとしてあり、応用性に乏しい。自然の中で、自分が自給自足により、強い精神を養える。あたられるものでなく自分で困難を乗り越え強く生きていく力を養える。
- ・日本在住の普通の(?)外国人と接することができる。異文化体験が(県内にいながらにして)体験できる。
- ・本会に係るイベントや会議などの中心は殆どの方が60歳、70歳以上の方で地域の愛着心が豊かな方々である。金銭抜きの純粋な心に触れあえる。
- ・就職前の専門学生を受け入れたが、生ぬるいNPO法人などで、きびしく対応できないのがデメリット。
- ・出会いを大切にしている。
- ・幼児の発達を理解してもらい、子育てについて、考えてもらいやすいようにしている。子供た

ちと楽しく接してもらえるように細かい指示はしない。それぞれが、意欲的に参加してもらえたらよいと思っている。

- ・期間中、クラブ事業の目的など、オリエンテーションを数回実施。視覚障がい者教室のお世話（設営準備、体験）から、弱者に対する思いやりの心を育む。

- ・学生の発想や計画を尊重して行動してもらおう。現在、夏休み冬休みなどを利用して子供のキャンプ活動など自然、科学、歴史などその時の学生のテーマに沿って活動している。

- ・基本的にはNPOスタッフが手を出し、口を出すのではなくOBによる経験を伝授し新しいメンバーを育てることにしている。それにより、OBの責任感が途切れることなく継承されていると感ぜられる。この形で40年続いてきたので、これまでは、これで良かったのではないかと考える。

- ・周りで温かく接するように気配りをしています。

- ・平常の活動に負担（個人）—金銭の面も含め—がかからないことを大切にしている。営利目的でないことから活動範囲も数多く取り入れている。

- ・営利企業ではないため、より理想に近いものを目標として活動することができると思いますまた、参加者にとっても自由な発想で意見が言えたり、幅広く協働が可能になったりすると思います。

- ・「学ぶ」ということの意義を事業を通して再認識が可能。「伝える」ということの難しさを知り、かつ、方法を学ぶことができる団体である。営利企業などが表現できない「社会の裏側」の存在と、どう向き合い捉えるかの議論など社会的テーマのディスカッションはメディア系NPOならではと思います。

- ・雑居老人や老夫婦の方々が90%占めますので話をするのを楽しみにしている人が多くおられるので、学生さんの新鮮などを売り込むと共に、お年寄達の挨拶や笑顔での応対は実に人間味を感じます。人とのつながり、何とか社会になじんでもらえる環境を作ってあげたいので8年目を迎えました。

- ・ボランティアをすることで、精神の障害は誰にでも起こりうる病気であり、病気のつらさや障害になった方々の大変さを理解してほしい。競争だけが人生ではなく、人を愛する心、弱者を慈しむ心を育ててほしい。

- ・学生さんの将来の選択肢の一つとして、福祉の分野も見てもらいたく、ボランティア等を受け入れています。

- ・障害者に対する福祉事業を学んで頂ければ幸いです。

- ・対人関係を築くための傾向と対策を学べる。サービスの基本が対人関係を中心に展開していきますので、相手の傾向をとらえ、自分の傾向をつかみ、対策を考えるという点においては、学んでおくべきことかと思えます。営利ではないので、職員にノルマを課せることはないので、深く、じっくり考えたい人向きの職場かと思えます。事業を展開するための人材と法人の管理部門の人材が、NPOのスケールが小さいので何でもこなさなければなりません。いろんなことをやってみたいという人向きだと思えます。

- ・これから受け入れを考えているので具体的には書けない。学生の活動時間はゆるい決まりで進める。自主的な活動を尊重する。NPO活動への提言なども多く受け入れて運営に生かす。

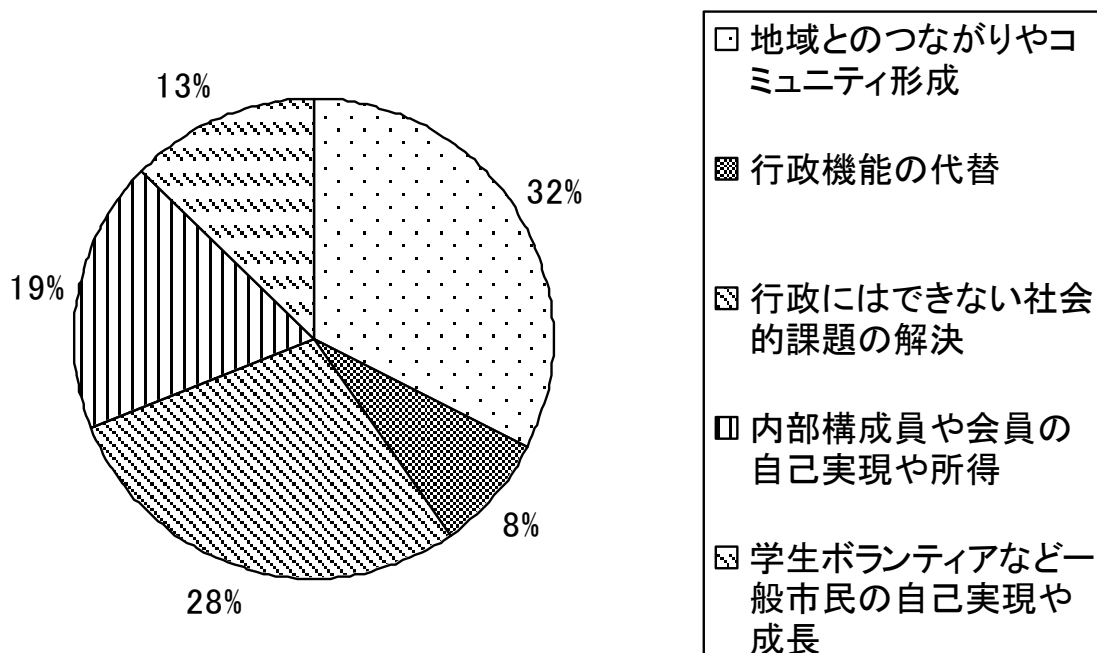
- ・特に意識していませんが、社会のうちの一人、コミュニティの一員だと感じてくれば、良いのではないのでしょうか。
- ・継続していくと、お互いが成長して、ふれあい楽しい時間が共有していくことが出来ている。
- ・権利養護の一環として知的、精神障害者、認知症高齢者の成年後見、市民後見人、法人後見等の取組を理解する、という点についてであればお役に立てるかと思います。
- ・自由な気風。
- ・医薬品の製造販売業者に自らが出荷する医薬品などについて安全管理情報の収集義務が課せられたGVP（製造販売後安全管理基準）が平成17年4月薬事法改正により規定された。富山県の製薬企業の多くは中小企業で個別の企業毎に安全管理情報の一つである学会、文献報告を網羅的に対応することは人員面及び財政面から対応に苦慮していた。このGVPの対応を支援するため、当NPOが富山県、富山大学、富山県薬業連合会の三者の出資で産学官による県内製薬企業向け医薬安全情報データベースとして平成19年9月設立された。
- ・特に変わったことではありませんが、自分がやりたいことと地域に役立つことを結びつけられたら、という点を大切にしたいと考えています。
- ・ホスピスは現在、癌などの（HIV含む）終末期を支える重要な役目を果たしています。そこで、人の命にかかわる大切な仕事の一つでもあります。まず、知ってほしいことはその精神であり、心の持ちようです。まだまだ知らない限りない世界があることを知って学生に教授して頂けたらと願っています。
- ・人間として、社会人としての基礎力。積極性、自発性。
- ・体験学習を通して。より富山湾を知ることが出来るし、身近に感じ興味を持つことが出来る。そうした意識づけが大切と考える。
- ・健全な体力、気力作り。自由な提言、提案を受け入れたコミュニティ造り。
- ・障害者と健常者に「差はあっても別はない」と言う信念のもと、上から目線の福祉活動ではなく、互いに学ぶ、学びあえる当事業所としたい。
- ・今の日本は経済面では豊かな国だと思いますが、私が幼い頃は周りにバラの花を見たことがなかったように思います。今、私たちは庭にバラを植え、鑑賞していますが、此れは環境と時の流れたその中でバラ作りが出来ることに感謝したい。時間そして心に余裕が欲しい。それは、地域の環境が大事だと思います。
- ・職業選択の幅が広がる。中学から始まり、高校、大学と勉強が必要とされている前の段階の、学童（小学1～6年）の児童と関わる事で自分もこれからこうやって思い切り遊んだ時があり、その頃の自分の夢は、初めて、過去の自分を振り返り、客観視できる機会だと考えます。（小学生の時はあまり過去を振り返るとかしないと思われる。）自分が客監視できることは今からの自分の進む道も見えて来る様に思います。
- ・金銭による見返りの期待出来ない活動の重要性、互いに助け合うことの大切さを学んで頂きたい。またそれらの活動に参加したことにより得られる達成感を味わって頂き、今後の人生におけるボランティア活動参加への動機付けになればと考える。
- ・通所介護事業を行っており、学生の方に地域の介護施設を必要としている方の現状を知ってもらいたい。

- ・私どものNPOは里山再生などと閉校した小学校の利活用を主体とし、地域住民とともに歩いていくことです。今年はツリー作成を行っています。又、年一回「そば祭り」を2月に行っています。
- ・経験や資格の有無にかかわらず、個々に合わせて業務に就いてもらい、当法人の活動に関心を持ってもらいたい。
- ・年1回の公開市民講座、年10回の「漢方医学と生薬講座」の参加をしていただければ、本人の知識も向上するし、後継者養成にもつながる。
- ・状況に応じとにかく支援する。一人で立ちあがれる様になるところまで手を差し伸べる。
- ・今は、テレビ、PC、スマホなど対人関係が薄らいでいるが、人と人と向き合い話し合い触れ合う機会持ってほしい。
- ・一人ひとりの力は小さくても皆の力を合わせて、美しく健康な人、町、経済を創っていただけることを体感してほしい。
- ・年配の指導者と行動することで地域の歴史、背景などを教えてもらいながら環境保全に貢献することができる。又、自然の中で活動を行うことで爽快感が得られる。
- ・お互い怪我がなく楽しく過ごせるようにしています。
- ・希薄になっているといわれる地域コミュニケーションを取り戻す活動をしているので、人間らしい体験ができると思います。
- ・仕事（障がい福祉）の楽しさが伝わるように心がける。
- ・つながり、笑顔を求めて社会的責任を果たすこと。
- ・利益追求は一般就労に向けてある程度求められていくので利用者には効率を求めているのでNPOであっても目標が一般就労に向かうためには学生であっても効率追求を求めたボランティアになると思います。
- ・「やりがいのある仕事」を見つけることの大切さ。
- ・日本国民が思いやりを持ち、逞しい人間になることを願い、地道に「道徳的考え方」の普及活動をしている。
- ・障害者に対して偏見的差別をなくしてほしい。家庭的延長の職場なので社会人としての一般常識を自然と身に付くと思います。
- ・自分で考え自分でやる。そして、フィードバックと言う体制。
- ・少子高齢化が急激に進んでいくこの世の中で、学生もいずれは行くであろう、高齢者として、どう地域で生きていくのか、どう生きれる世の中にしたいのか、を考えていけば（考えるきっかけになれば）と思っています。（そんなに真面目に、考えてはいませんが、..）
- ・手伝い（サポート）して「何ぼ」と金銭的な発想をしがちであるが、互いに活動して得られる心の豊かさ、満足度を求めた活動となるように願っている。
- ・精神障害者やその家族に対する支援事業を行うことにより、精神障害の社会福祉に貢献している。ボランティア精神の大切さ。障害を持つものでも暮らしやすい社会になるように活動（県市町村への要望活動）

Q11. 貴法人は、どのような社会的機能を重視して活動していますか。

合計が10になるように、「回答欄」に数字を入れてください。

Q11: どのような社会的機能を重視した活動？



地域のつながりやコミュニティ形成が10ポイント中3.2ポイントと最も重視している。また、行政にはできない社会的課題の解決が10ポイント中2.8ポイントとなっており、行政機能の代替ではなく行政には頼らない主体性をもった団体が多い。

学生の受け入れ実績や意向に関係すると思われる学生ボランティアなど一般市民の自己実現や成長は大きな数値とはなっていない。

### 3. ヒアリング調査

アンケート結果などを元に、注目される5法人について、ヒアリング調査を実施した。

#### ◆NPO法人 F-site 稲林 忠雄 さん

主に、映像やスポーツを通じた人材育成とまちづくりの推進や、メディアを通じた文化・スポーツの振興をおこなっている。

見て学ぶ。技術的に教えない。自分から人に聴いて情報を集める。ことで、捉え方やコミュニケーションを教える・伝えることを大事にしている。

#### ☆受入りたい具体的な理由

人材育成。事業を通じ、お互いを認め合い、価値観を共有していく。この先の人生の気づき。考え方を考えるきっかけを与えることが出来る。持っている能力を引き出し、伸ばしていきたい。一緒に見聞きし、物事の捉え方や感動を人に伝えることを学ばせる。

若い者の感覚・視点が知りたい。自分たちでは考えられない創造性を期待する。

#### ☆解決したいこと

与えられたことをやる団体ではない。

インターンシップに来る前に、まえもってどんなことに取り組んでいるか調べてくる。



#### ◆NPO法人 水辺のまち新湊 二口 紀代人 さん

伝統や内川を活かしたまちづくり。空き家を利用した定住施設の促進、イベントの企画運営を行っている。

#### ☆受入りたい具体的な理由

イベント運営時に、大学生のアイデアを活かし、手伝ってもらいたい。

作成した街歩きマップに、若者から見た視点も載せてみたい。



空き家を利用した定住施設について、大学生の発想がほしい。いろいろなことに一緒に取り組んでみたい。

空き家を求めて来られる方が多いが、持ち主がわからない。相続者が行方不明。などの理由で、せっかくの物件が朽ち果ててしまう。そういう研究もしてほしい。

☆解決したいこと

指示する側が高齢な為、多様に気を配ることができず適宜な指示が出せるか、懸念が残る。駐車場がない。

富山県の人が奥ゆかしい故に、自分たちの生活の良さを評価し切れていない。良さを守り磨いていく。良さを再認識する。ことが、大学生受入れ時にも大切と考えている。

自分が住みやすい楽しい嬉しい。そういうことが結果的に繋がる。

街づくり町の魅力を若者の目で発見して欲しい。



◆NPO法人 わくわく小矢部 中西 順子 さん

富山型デイサービス。高齢者・障害者(児)・乳幼児や児童・地域の皆が共に楽しく語らい、ふれあい、助け合い、生きがいを感じ、わくわくした時間や生活を送っていただきたい。地域の誰もが集えるギャラリーや地域談話室を設け、利用者の交流・自立支援・生きがい活動を高めている。

☆受入れたい具体的な理由

職員だけでなく、様々な年代の方にボランティア等を通して、富山型デイサービスの理念「共にふれあい・語り合い・助け合う」を感じて欲しい。

ひとり暮らしや日中一人で過ごしているお年寄りが寂しいと思うので、お年寄りとおしゃべりをしてほしい。また、趣味の活動などを一緒にするなど、活動の相手をしてほしい。

お年寄りは、若い人と話しをするのが楽しい。

小学生のさんさん広場（学童に開放）をしているので、大学生のお兄ちゃんお姉ちゃんがいくと喜ぶ。

インターンシップの期間が長ければ、レクリエーションの担当もして欲しい。

☆解決したいこと

大学生が、お年寄りと話しをするのが苦手と感じているように見受けられる。

ご挨拶程度は出来るが、お年寄りと何を話していいのかわからず固まってしまう光景が見られる。福祉関係は、コミュニケーションをとることが大前提なので、話せなくてもお年寄りの話を聴いてあげてほしい。



◆NPO法人 Nプロジェクトひと・みち・まち 大坪 久美子 さん

消費者市民になろう。何をつくるか選ぶか、消費者自らが社会を変える一員であるという意識を持ち行動するため、人生設計を含めながら考える提案をしている。

人が町を社会をつくる核になっている。心身が健康で、人権の尊重も大切にする状態じゃないと町が活性されない。道は公共の代表なので、市民が参画して決めていく地域を作っていきたい。市民が自主的に取り組む社会を目指す。

☆受入れたい具体的な理由

イベントに携わってもらい、大学生の視点でイベントの組み立てやチラシ作成・集客をしてもらいたい。

例えば、デートDVなどの若い世代に必要な知識のイベントが多いため、イベントの周知とイベントに参加した学生が、知人や友人に広く伝えることを望む。

☆解決したいこと

いまはスポットなので、毎日活動があれば受入できる。

もしくは、イベントに合わせて来てもらいたい。大学へも募集するが集まらないのが現状。

◆NPO法人 市民活動サポートセンターとやま 能登 貴史 さん

市民活動を、行政や企業とともに協働する未来を支援する。異文化交流を通じ気付くことで、市民ひとりひとりが、社会的使命をもって社会を良くしながら生きることを目指す。

☆受入れたい具体的な理由

積極的に受入れたい。

NPOは閉鎖的なところが多いため、新しい風がふくと新鮮。新しい視点から物事を捉え、いい・悪いのルールの再構築ができる。また受入れにより、何が不足しているかみえるため、組織力アップにも繋がる。

大学とNPOでコラボレーション。

NPOはライフスタイルのひとつとして自分の生き方を実現する場であり、また学んだことを活かし更に発展させてほしい。

価値観やものの見方を垣間見てもらおう。

☆解決したいこと

受け入れ側の準備をしっかりとしないといけない。

成長が見えるプログラム・仕組みづくりが必要。

大学の授業で、社会貢献としてのNPOを知る時間があるから来て欲しい。

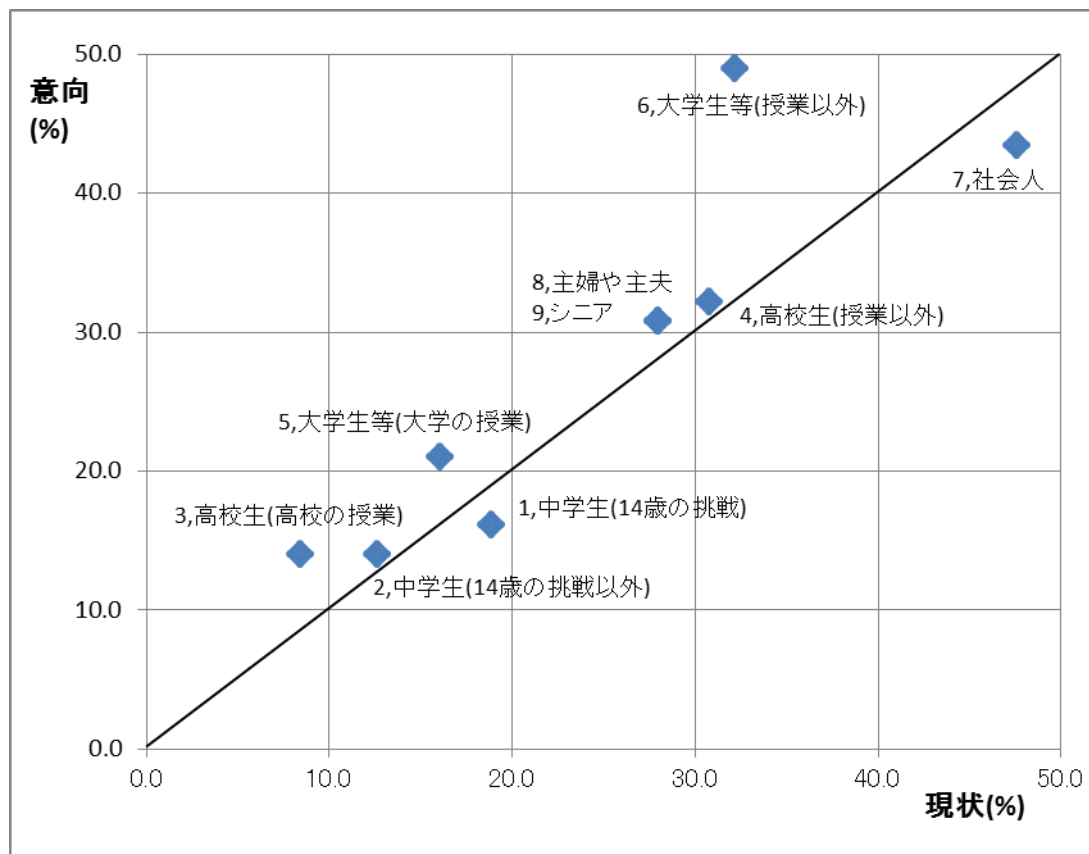
大学生の専門分野を活かせるNPOへ行く。



#### 4. アンケート調査 分析

##### (1) 受入の「現状」と「意向」のポジショニング

本アンケートのQ3では、現状の受入状況を質問している。また、Q4では、受入を増やしたい意向を質問している。前者を横軸、後者を縦軸にポジショニングをした図は以下のとおりである。45度直線より下部に位置するものは、ある意味仕方なく受け入れている対象であり、上部に位置すればするほど、現状と比較して、意向度が高い対象である。6、大学生等（授業以外）への意向度が絶対値においても、現状乖離度においても高い。

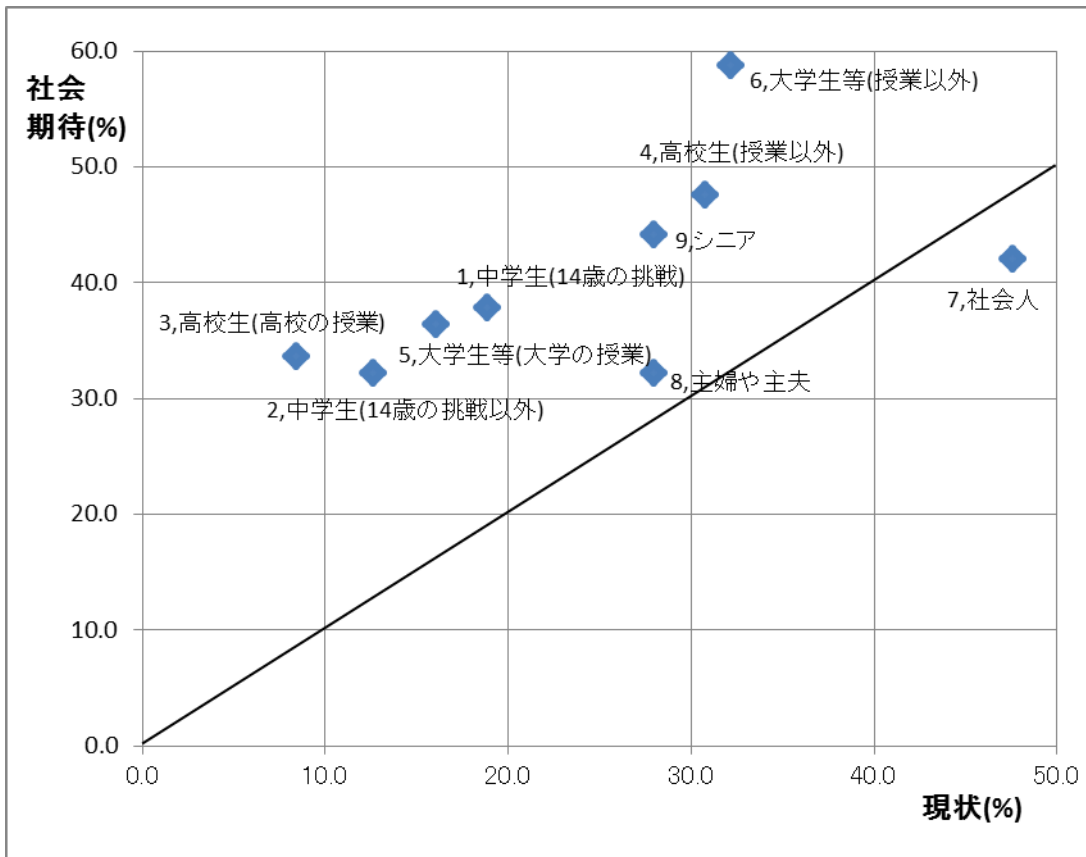


##### (2) 受入の「現状」と「社会期待」のポジショニング

本アンケートのQ3では、現状の受入状況を質問している。また、Q6では、社会で増えた方がよいと思う社会期待を質問している。前者を横軸、後者を縦軸にポジショニングをした図は以下のとおりである。

45度直線より下部に位置するものは、ある意味あるべき社会よりも過度に仕方なく受け入れている対象であり、上部に位置すればするほど、現状と比較して、自分たちの法人がプレイヤーになれるかどうかは別として、社会期待度が高い対象である。6、大学生等（授業以外）への社会期待度が絶対値においても、現状乖離度においても高い。また、3、高校生（高校の授業）などが現状乖離度が高くなっている。中学生も含め、若い世代への社会期待が高い。このことから、あるべき社会は若い層がもっと地域社会で活動する社会であり、現状をその方向に変えていきたいという期待を表したものである。

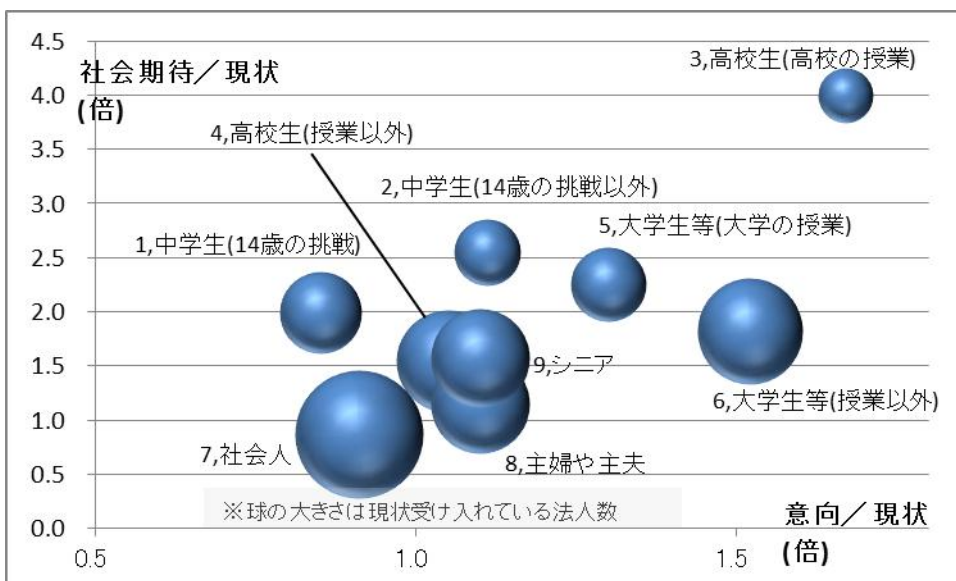


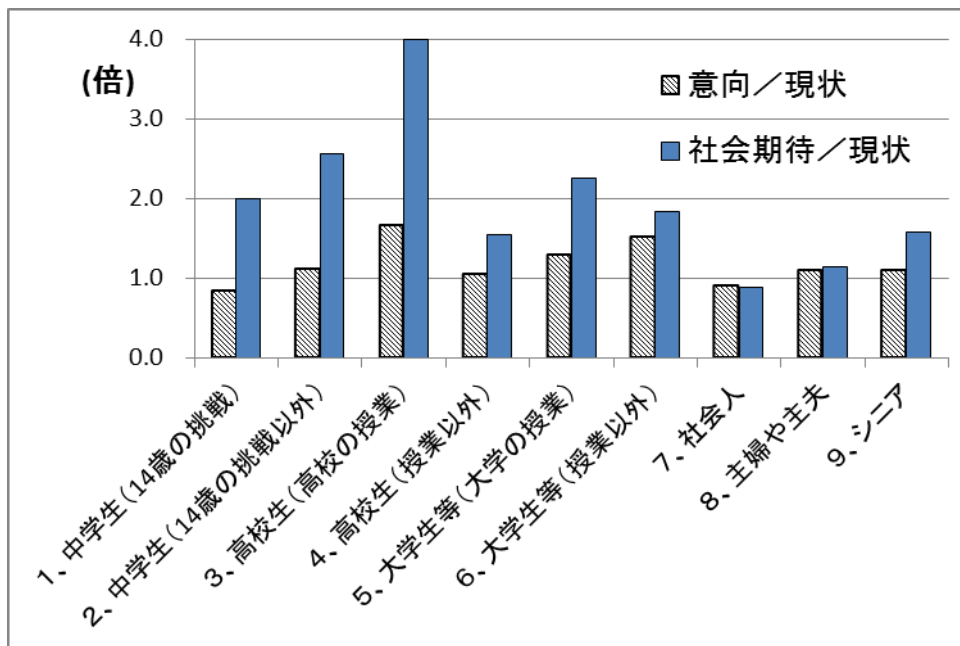


(3) 意向乖離と社会期待乖離

現況を1として、横軸に意向乖離倍率、縦軸に社会期待乖離倍率を示したものが以下のグラフである。(球の大きさは、現状の受入法人数を表している)

3、高校生(高校の授業)の乖離倍率が大きくなっている。このことは、意向や社会期待の大きさを表すというより、現状の受入状況が低いことが原因ではないかと推察される。





(4) 受入法人数 (現状) の  $\chi^2$  分析

受入の有無 (現状) について、年間収入規模および社会的機能との  $\chi^2$  分析をした結果が以下の表のとおりである。年間収入規模が大きい場合やNPO法人が重視している社会的機能として“学生ボランティアなど一般市民の自己実現や成長”の割合が大きい場合に、受入している傾向がある。

**$\chi^2$  値**

	受入(現状)	年間収入規模	社会的機能
1,中学生(14歳の挑戦)	27	16.78 (*)	7.72 (*)
2,中学生(14歳の挑戦以外)	18	2.86	7.10 (*)
3,高校生(高校の授業)	12	17.61 (*)	5.22
4,高校生(授業以外)	45	15.47 (*)	11.13 (*)
5,大学生等(大学の授業)	23	5.70	5.93
6,大学生等(授業以外)	46	7.13 (*)	12.32 (*)
7,社会人	71	2.54	12.46 (*)
8,主婦や主夫	42	3.56	4.94
9,シニア	41	1.72	5.53
10,その他	19	0.30	5.30

※分析対象法人数: 143

※年間収入規模については、Q2:1000万円以上か否かの2×2で分析

※社会的機能については、Q11-5:学生ボランティア…の点数が2点以上か否かの2×2で分析

※(\*)は99%有意

## 学生ボランティアやインターンシップの受入状況に関するアンケート

貴NPO法人名： \_\_\_\_\_

記入ご担当者名： \_\_\_\_\_ 連絡先電話番号： \_\_\_\_\_

Q1. 貴法人の活動分野に○をつけてください。(複数回答可)

- 1、保健・医療・福祉
- 2、社会教育・生涯教育
- 3、まちづくり
- 4、平和推進
- 5、男女参画
- 6、農山漁村の振興
- 7、子どもの健全育成
- 8、環境保全
- 9、災害救援
- 10、地域安全
- 11、文化・芸術・スポーツ
- 12、経済活動の活性化
- 13、国際協力
- 14、観光振興
- 15、情報化の推進
- 16、科学技術の振興
- 17、消費者の保護
- 18、職業能力・雇用機会の拡充支援
- 19、NPOを支援する活動

Q2. 年間収入規模はどのくらいですか。○をつけてください。

- 1、0円
- 2、～10万円未満
- 3、～50万円未満
- 4、～100万円未満
- 5、～500万円未満
- 6、～1000万円未満
- 7、1000万円以上

Q3. ボランティアやインターンシップ、社会体験等として、貴法人でこれまで受け入れたことがある人に○をつけてください。(複数回答可)

- 1、中学生 (14歳の挑戦)
- 2、中学生 (14歳の挑戦以外)
- 3、高校生 (高校の授業)
- 4、高校生 (授業以外)
- 5、大学生等 (大学の授業)
- 6、大学生等 (授業以外)
- 7、社会人
- 8、主婦や主夫
- 9、シニア
- 10、その他 ( )

**Q 4.** 今後、受入を増やしたい人に○をつけてください。(複数回答可)

- 1、中学生 (14 歳の挑戦)
- 2、中学生 (14 歳の挑戦以外)
- 3、高校生 (高校の授業)
- 4、高校生 (授業以外)
- 5、大学生等 (大学の授業)
- 6、大学生等 (授業以外)
- 7、社会人
- 8、主婦や主夫
- 9、シニア
- 10、その他 ( )

**Q 5.** 受入が難しいまたは受入を減らしたい人に○をつけてください。(複数回答可)

- 1、中学生 (14 歳の挑戦)
- 2、中学生 (14 歳の挑戦以外)
- 3、高校生 (高校の授業)
- 4、高校生 (授業以外)
- 5、大学生等 (大学の授業)
- 6、大学生等 (授業以外)
- 7、社会人
- 8、主婦や主夫
- 9、シニア
- 10、その他 ( )

**Q 6.** 貴法人の活動や状況に関わらず、今後社会の中でボランティアやインターンシップ、社会体験等がさらに増えた方が良くと思う人に○をつけてください。(複数回答可)

- 1、中学生 (14 歳の挑戦)
- 2、中学生 (14 歳の挑戦以外)
- 3、高校生 (高校の授業)
- 4、高校生 (授業以外)
- 5、大学生等 (大学の授業)
- 6、大学生等 (授業以外)
- 7、社会人
- 8、主婦や主夫
- 9、シニア



10、その他 ( )

**Q 7.** 貴法人において、学生ボランティア等（中学生、高校生、大学生等）の受入を増やす場合、どのような課題が解決できれば良いですか。○をつけてください。（複数回答可）

- 1、受入体制（人材がいない）
- 2、受入体制（費用がかかる）
- 3、受入体制（受入プログラムがない）
- 4、受入時期（日程が合わない等）
- 5、受入期間（期間が短い等）
- 6、学生のケガなどのリスク管理
- 7、学生の取組姿勢
- 8、学校や民間マッチング組織の取組や機能
- 9、その他 ( )

**Q 8.** 学生ボランティア等の受入を実施するにあたり、頼りにしたい機関があれば○をつけてください。（複数回答可）

- 1、中学校や高校や大学等、学生が所属する学校
- 2、富山県インターンシップ推進協議会など公的専門組織
- 3、富山県や県内各市町村の社会福祉協議会
- 4、富山県民ボランティア総合支援センター
- 5、富山県内の NPO を支援する民間組織
- 6、富山県外の組織
- 7、その他 ( )

**Q 9.** 学生ボランティアの受入にあたり、貴法人側の受入メリットや意義について、自由に記入してください。

**Q10.** 学生側のメリット（学生の成長等）のために、貴法人が大切にしていることや営利企業にはないNPOならではの特征等について、自由に記入してください。

**Q11.** 貴法人は、どのような社会的機能を重視して活動していますか。

合計が になるように、「回答欄」に数字を入れてください。

	(例)	回答欄
地域とのつながりやコミュニティ形成	1	
行政機能の代替	0	
行政にはできない社会的課題の解決	5	
内部構成員や会員の自己実現や所得	3	
学生ボランティアなど一般市民の自己実現や成長	1	
計	10	10

本アンケート調査結果をまとめた報告書（無料）を希望されますか？

※送料も大学が負担してお送りします

1、希望する    2、希望しない    3、どちらでもよい



**同封の返信用封筒にてご返送ください。ご協力、ありがとうございました。**